

生活支援体制整備について

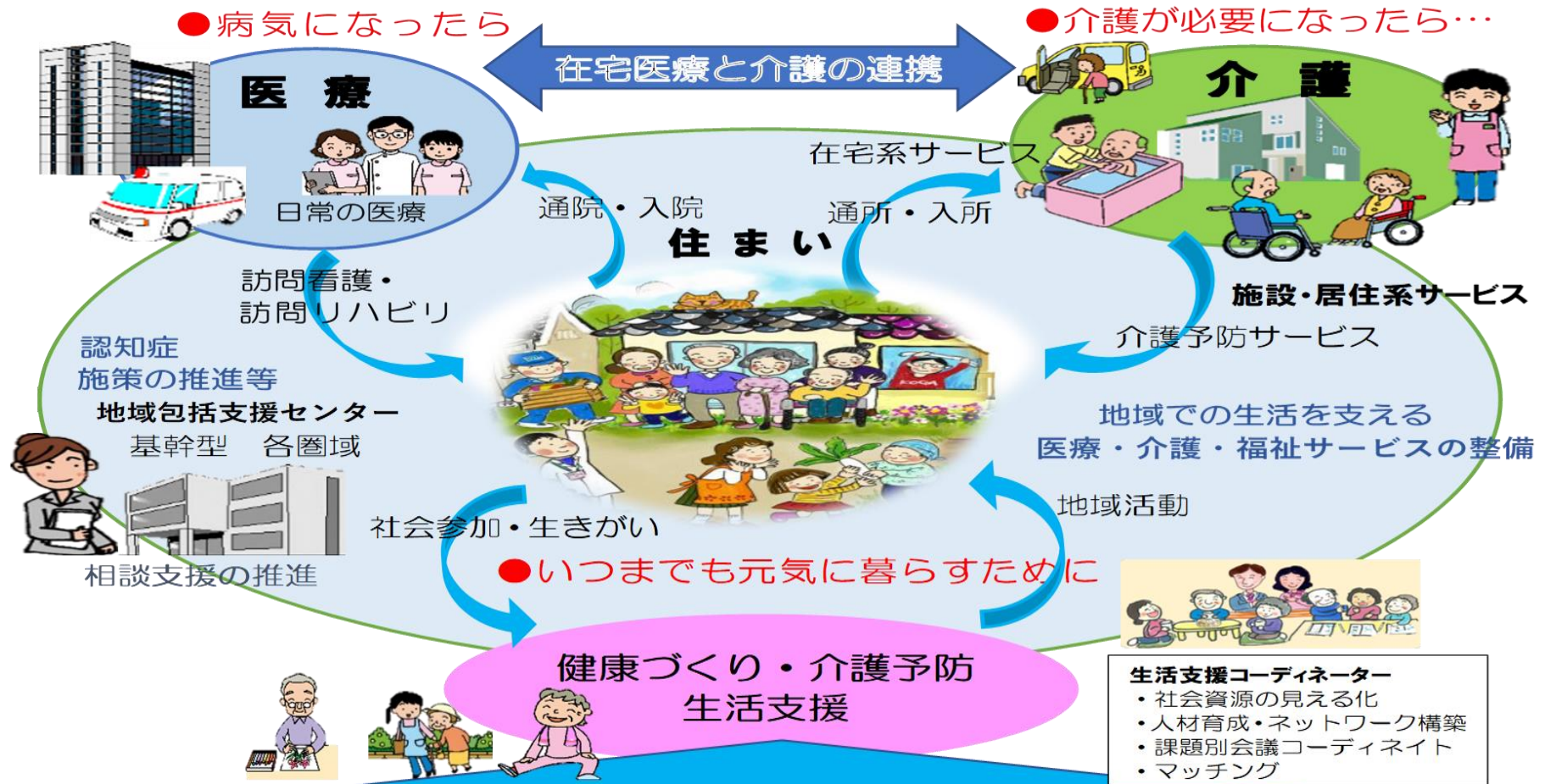
【基本理念】

住み慣れた地域でともに支えあい、
健やかに最期まで安心して暮らせるまちづくり

～みんなで支え合う地域づくりをしよう～

地域包括ケアシステム

高齢者が住み慣れた地域でできる限り継続して生活できるように、個々の高齢者の状況やその変化に応じて、介護サービスを中核に、医療サービスをはじめとする様々な支援を、継続的かつ包括的に提供する仕組み



第1層生活支援
コーディネーター

第1層 地域支えあいネットワーク全体会議（協議体）

【内容】関係機関の代表者が集まり古賀市の高齢者を取りまく現状把握や体制整備の学習を行う。（年間1回程度 ①学習会 ②年間報告会）

第1層 地域支えあいネットワーク課題別会議（協議体専門委員会）

【内容】古賀市の課題として協議が必要な場合には、関係団体を生活支援コーディネーターが選出し、課題別会議を開催することで、課題解決をめざす。

第1層生活支援
コーディネーター

地域活動に意欲
のある市民

地域ケア会議
アドバイザー

コスモス
ネット委員

行政機関

地域活動
団体

包括支援
センター

地域活動サポ
ートセンター運営
委員会

社会福祉
協議会

・企業
・NPO

事例から見てきた地域課題の明確化

地域ケア推進会議（市主催）

【内容】住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを支援するために、社会資源を活用しながら地域力を高め、地域課題について情報交換を行い問題解決に向けた取組を推進する。

地域課題の把握・地域づくり資源開発・施策形成の提言

地域ケア個別会議（包括支援センター主催）

【内容】ケースを検討することにより、①地域支援ネットワークの構築
②ケアマネジメント支援③地域課題の把握を行う

地域ケア会議アドバイザー：看護師・リハ職・管理栄養士・歯科衛生士
薬剤師・生活支援コーディネーター等

事業対象者・要支援認定者の個別事例

各小学校区の介護予防・生活支援の現状と成果課題の明確化

第2層 地域支えあいネットワーク全体会議（各小学校区協議体）

小野・青柳・古賀東・古賀西・花鶴・千鳥・花見・舞の里（8小学校区）

【内容】各小学校区にて、関係機関が集まり地域の高齢者を取りまく現状状況把握や体制整備の学習を行う。（年間2回程度 ①学習会 ②年間報告会）

第2層生活支援
コーディネーター

第2層 地域支えあいネットワーク課題別会議（協議体専門委員会）

【内容】各小学校区の課題に対して協議が必要な場合には、関係団体を2層生活支援コーディネーターが選出し、課題別会議を開催することで、課題解決をめざす。

各地域の高齢者の介護予防・生活支援における地域状況

個別課題から地域課題につながる

コーディネーター連携会議

活動主体へフィードバック

協議から生み出された解決策の提案やサービス

地域支えあいネットワーク全体会議 年1回

令和6年度実績

開催日：令和7年3月26日

参加者：18人

基幹型地域包括支援センター、圏域地域包括支援センター、
第1層生活支援コーディネーター、第2層生活支援コーディネーター、
健康介護課、まちづくり推進課、古賀市社会福祉協議会

内 容	課 題
地域ケア会議報告 (古賀市全体の課題)	加齢に伴う身体的な特徴に起因する課題が上位を占める 運動機能の低下→生きがい・QOLの低下→ 閉じこもり・認知力低下
校區別地域支えあい ネットワーク会議報告	活動団体の高齢化、自治会加入者の増加、 地域活動の担い手不足、次世代交流の不足
その他 地域活動情報共有	人とのつながりが少ない、つどいの場など参加者の固定化 →新たなテーマづくり「 <u>食</u> 」でつながる 歩行力低下で公民館に行くことができない →新たな場づくり・身近な場所 <u>個人宅</u> などの開放

校区别地域支えあいネットワーク全体会議 ～小学校区単位でのネットワークづくり～

- ・校区内の良い取組みは横展開へ
- ・地域住民や各種団体、行政等が連携して、介護予防や生活支援のネットワークづくりを推進

令和6年度実績 8小学校区で各1回開催 総参加者数 164人

11月19日花見校区（21人）	11月22日舞の里校区（20人）	11月25日小野校区（21人）
11月29日花鶴校区（21人）	12月5日古賀西校区（26人）	12月7日青柳校区（15人）
12月11日古賀東校区（21人）	12月14日千鳥校区（19人）	



※専門職（保健師、管理栄養士、健康運動指導士、地域包括支援センター職員）も参加し
地域と専門職がつながる機会

第1層 地域支えあいネットワーク課題別会議について

令和6年度実績

開催日：令和7年2月19日

参加者：18人

健康介護課、福祉課、子ども家庭センター、隣保館、
まちづくり推進課、青少年育成課、生涯学習推進課、
古賀市社会福祉協議会

テーマ

「地域包括ケアシステムの中における子どもの育ちと地域」

SC・CSW連携タイムについて

SC（生活支援コーディネーター） CSW（コミュニティソーシャルワーカー）

令和6年度実績

24回（月2回実施）

参加者 第1層SC、第2層SC・CSW、
基幹型地域包括支援センター、
高齢者の健康づくり事業担当者、健康介護課、
古賀市社会福祉協議会

内容 情報共有及び課題把握、課題解決協議

地域支えあいネットワーク情報誌について

古賀市生活支援体制整備事業 情報誌

地域支えあい ネットワーク通信

2024.12

vol.18
KOGA CITY

住み慣れた地域で共に支えあい
健やかに最期まで安心して暮らせるまちづくり



P2 古賀市版 地域包括ケアシステムの姿 表紙の説明

P3 地域支えあいネットワーク

P4-5 つどいの場の紹介 日吉台区

P6 つどいの場の紹介 小山田区

P7 つどいの場の紹介 新原区朝の会

P8 古賀市のフレイル予防

サロンひばり苑

ラジオ体操

古賀市生活支援体制整備事業 情報誌

地域支えあい ネットワーク通信

2025.3

vol.19
KOGA CITY

住み慣れた地域でともに支えあい、
健やかに最期まで安心して暮らせるまちづくり



P2 支えあい
ネットワークづくり

P3 支え上手・支えられ上手
表紙の説明

P4 つどいの場について

P5-7 地域活動の紹介

P8 高齢者の食事について

「つどいの場」
キーワード①

多種多様なつどいの場 日吉台区

ふれあいのまち日吉台 シニア世代が明るく元気な街

～ひとりとはみんなのために
みんなはひとりのために～

(日吉台区公民館展示ポスターより)



多くの活動があって
いつも開いている公民館です



●防犯・パトロール隊 毎週火曜日 15:30～16:00

参加できるときに参加できる人で行きます



見守りを兼ねたゴミ拾いのボランティアグループです。花鶴川沿道やJR高架下には空き缶などのゴミ捨ても多く、30分歩くとゴミ袋はいっぱいになります。除草作業日前に有志が集まり、草刈り機を使い作業も行います。



●明春会コーラス 第2・4火曜日 13:30～16:30

月1回は渡先生の指導、あと1回は自主練習です



声の出方、気持ちの入れ方で歌が変化することを感じながら練習しています。文化祭(日吉台区、古賀市シニアクラブ連合会)に参加し、多くの人に聞いてもらう機会が練習の励みになります。

先生の指導に大満足

●太極拳同好会 毎週木曜日 13:00～15:30 毎週金曜日 9:30～12:00

ゆるやかな有酸素運動で体幹を強くしたり、バランス力向上にも効果がある運動を楽しんでいます。



文化サークルで習ったことを復習しています

●マーガレット(シニアクラブ女性部) 第1・3火曜日 13:30～15:30

■前半

手芸の時間は古賀市シニアクラブ連合会の文化祭に出展する作品づくりを行います。



作品を多くの人に見ていただくのは嬉しい

■後半

体操と麻雀(令和6年4月スタート)があるので、好きな活動に参加します。



指導は健康マージャンのメンバーの方にお願いしています。初心者ばかりの楽しい活動です

●健康マージャン倶楽部 毎週月曜日 13:00～16:00

年に1回開催の「日吉台区杯麻雀大会」はとても盛り上がりします



シニア世代も若い人も一緒に麻雀を楽しんでいます。

●サンピア日吉(介護予防音楽活動) 第1・3水曜日 10:30～12:00

「地域活動サポートセンターゆい」の音楽活動に参加したのがきっかけで始めました。体操を毎回練習の前にし、年に1回は体力測定も行っています。



待ちどしい活動日です

●卓球クラブ 毎週月・水・金曜日 13:00～15:30

基本ルールとシンプルさがいいスポーツです



家から歩いてすぐの公民館でできる身軽がいいです。古賀市ピンポン大会にも参加し市内の愛好者の人たちと交流も深めています。

●ゲートボール同好会 毎日 10:00～12:00

毎日、ゲートボール場に集まっています。来年、岐阜県で行われる全国大会の出場が決まり(福岡県老人ゲートボール大会優勝)練習にも力が入り今から楽しみにしています! 定年退職した人を誘うときの言葉は「楽しいよ」「一度体験してみらんね」につき「口コミ」で輪を広げています。40年以上(開設当時から)続けているメンバーもいます



福岡県老人ゲートボール大会優勝旗

その他、スカットボール、ボールゲーム、ストレッチ体操、気功同好会、T O A 同好会、よもぎ会も定期的に公民館で活動しています

福祉部 月1回:ひだまり喫茶

福祉会が自治会の組織に入っており、組長が福祉会長になります。会長は1年交代ですが協力員(有志)が各組にいるので、いつも楽しく活発に活動しています。



10月の活動は(10月18日)古賀市まちづくり出前講座「やってみよう!脳トレ体操」を行いました。頭と体を使いゲームに大満足です。とても楽しかったです

成人学級 月1回

学級長を中心に生活課題解決につながる学習会や体験会、社会見学などを行っています。

日吉台自治会の行事

春 ふれあいグラウンドゴルフ大会

夏 ふれあい夏まつり

秋 ふれあいウォーキング大会

冬 ふれあいの会

【日吉台区 土岐区長より】

昼間の公民館はフル稼働でいるようなシニア世代のサークルがあり元気がいっぱいです。各サークルの代表者が主体的に運営し、住民の皆さんは好きな活動に参加でき、選択肢が多いのが良いところです。様々な活動が活発に行われているのは皆さんのこれやりたい!の発信力と各サークル代表者の実践力だと思います。

自治会活動は、子ども達と一緒にできる活動を大切にし保護者を巻き込んで、区の良さを体感できる楽しい行事を行っています。担い手不足はいなめませんが保護者世代の皆さんが行事に参加し、日吉台区を好きになってもらえるイベントをこれからも続けます。自治会活動は現役員に加え、歴代区長、シニアクラブや各団体の執行部、サークル代表者の皆さんと協力して行っています。10年先、20年先の地域づくりに取り組み安心・安全で美しい地域づくりをこれからも行っていきたいと思います。



5月17日日吉台区福祉部主催の喫茶「ひだまり」が開催されました。今回は「みんなで歌う昭和歌声広場」です。舞の里の田上さんがギターの弾き語りで皆んな楽しく懐かしい歌を歌いました。ギター教室の生徒さんもギター演奏と美しい歌声を届けてくれました。市議会議員の中野さんもベースギターの演奏を披露してくれました。感動した歌に涙ぐむ参加者もいました。人と人が繋がり、集まる組織がある地域の自治会活動を持続可能な地域社会を造るために育てていきましょう。福祉部の皆さん、美しい演奏を届けてくれた演奏者の方々ありがとうございました。



これからは

介護予防と日常生活支援が一体となる地域活動、新しい認知症観を踏まえ、
多様な地域活動がつながり合い、支えあいのネットワークづくりが大切

そのためには

高齢者の日常の困りごとを支える
社会福祉協議会

サロンや世代間交流など

高齢者の保健事業と介護予防
を一体的に推進している
健康介護課・ゆい

人材育成、地域活動支援制度など



高齢者の総合的な相談を受ける
福祉課・地域包括支援センター

新しい認知症観
個人の問題を地域課題と捉え地域
づくりに活かす

支える団体

関連課・団体、民間、
NPO法人など

令和7年度会議・情報誌の取組み

項 目	目 的	取 組
地域支えあいネットワーク全体会議	生活支援体制整備の強化	校區別会議 各1回／年開催 全体会議 1回／年開催
課題別会議	生活支援推進 ゴミ出し、交通、買い物他 地域主体つどいの場の活性	随時開催
SC・CSW 連携会議 SC（生活支援コーディネーター） CSW（コミュニティソーシャルワーカー）	地域活動に係る情報共有及び 課題解決に通じる協議	月1回開催
地域支えあいネットワーク情報誌	生活支援体制整備に係る情報 発信	年2回発行

令和7年度取組み I

令和6年度 校区別地域支えあいネットワーク全体会議で出た課題

- ①地域活動の担い手不足
- ②活動団体の高齢化による活動衰退や退会者増加



健康づくり及び介護予防サポーターなど
地域活動実践者同士の交流
(地域課題と課題解決を共有)

令和6年度 地域支えあいネットワーク全体会議で出た課題 (地域ケア会議より見えてきた課題)

社会参加に課題が多い



情報発信及び共有 (地域資源等)

社会参加

生きがい・QOL向上

これまで

つどいの場は、住民が主体的な意思をもって集う場で、介護予防の取組を推進し高齢者の社会参加を促し支え合い機能を担う。

また、互助を担う地域資源として活動把握及び地域ニーズに応じ伴走をしてきた



人材育成・活動の場の推進

サロンや介護予防に取り組む
つどいの場への伴走継続

※身体機能が低下しても参加できる
つどいの場づくりの啓発・推進

※認知症当事者及び家族もともに参画できる
つどいの場づくりの啓発・推進

これまで

高齢者が安心して地域移動ができる制度を紹介し移動のサポート提供
免許返納後の移動や公共交通不便地域の声を聴く



今後

地域ニーズとマッチング（経営戦略課につなぐ）

これまで

高齢者が安心して買い物ができるサポート提供

遠隔買い物 「コスモス広場」と地域をつなぐ取組み

今後

①遠隔買い物で「コスモス広場」と地域をつなぐ

②移動販売車とつどいの場をつなぐ

③買い物サポートガイド情報誌の検討

